

令和4（2022）年度 日本仏教社会福祉学会 第56回学術大会 開催ご案内 （第2報）

【大会テーマ】

「東日本大震災10年を越えて」 地域と寺院の今後のあり方

【大会日程】2022（令和4年）年11月19日（土）・20日（日）

【大会会場】宮城県 女川町まちなか交流館 女川駅徒歩3分

1：大会日程・概要

【第1日目 11月19日（土）】（会場 女川町まちなか交流館 ホール）

午前 9時00分～ 受け付け開始 女川町まちなか交流館 ホール

9時30分～ 東日本大震災被災者慰霊追悼供養並びに物故者法要

今回の物故者法要は、女川町仏教会がお引き受け頂いております。

会場 女川町海岸広場

10時15分～ 基調講演（公開）

「女川いのちの石碑の取り組みと今後」

女川1000年後の命を守る会 メンバーより

主宰 阿部一彦氏^{※1}

13時15分～ シンポジウム

非常時の寺院と地域のつながり（支援関係）」ではなく

「平時の関係づくりの視点づくり」として

～日常からつながるために～

コメンテーター 園崎秀治氏^{※2}（オフィス園崎代表）

シンポジスト 東日本大震災に際し地域支援実践仏教者として

・岩手県 高橋英悟氏^{※3} 釜石仏教会事務局長

- ・宮城県 八巻英成氏^{※4} 女川町 保福寺住職
- ・福島県 馬目一浩氏^{※5} 浜○かふえ（はままるかふえ）元代表
コーディネーター 宮坂直樹氏^{※6} 浄土宗総合研究所研究員

- (※1) 東日本大震災から8ヶ月後の2011年11月、女川一中の1年生(当時)64名で社会科の授業を通して考えた「津波の被害を最小限にする3つ対策案」を宮城県内外の先生方に発表。考えた夢の対策案は、「女川いのちの石碑」建立という成果につながった。
- (※2) 社会福祉法人全国社会福祉協議会で、ボランティアセンターの災害担当として、災害発生時に先遣で現地入りし、支援の要否確認に入る役割を担ってきた。元社会福祉法人全国社会福祉協議会地域福祉部全国ボランティア市民活動振興センター副部長
- (※3) 曹洞宗吉祥寺住職（大槌町）大槌町生きた証プロジェクト推進協議会会長
- (※4) 曹洞宗保福寺住職（女川町）発災時、緊急指定避難場所として70日間被災者を受け入れた。
- (※5) 浄土宗阿弥陀寺副住職（いわき市） 浄土宗福島教区浜通り組青年会を中心にいわき市の仮設住宅等を中心に訪問移動カフェを開催した。
- (※6) 浄土宗龍原寺 副住職（東京）

16時30分～ （シンポジウム終了後）日本仏教社会福祉学会総会（会員のみ）

会場：女川町まちなか交流館

17時10分 終了予定

【第2日目 11月20日（日）】（会場 女川町まちなか交流館 会議室・多目的室）

午前

9時30分～ 受け付け開始

10時00分～ 研究発表会

午後

13時30分～ 学会会員：参加者に対して 被災地スタディツアー バスにて移動希望者対象（有料） 女川町、石巻市での震災遺構等を訪ねる

- ・女川いのちの石碑（女川町地域福祉センター）
- ・みやぎ東日本大震災津波伝承館（石巻市）
- ・石巻市震災遺構 門脇小学校[※]（石巻市）

※入場料600円は各自負担

16時30分～17時00分

仙台空港で解散予定。（仙台駅までは電車で30分ほどです）

2：大会申し込みのご案内

1) 大会参加申し込み、参加費について

参加区分		事前申し込み 10月18日（火）まで	大会当日受付
大会参加費 (2日間)	会員（一般）	3000円	4000円
	会員（協賛・実践）	2000円	3000円
	学生会員	無料	1000円
	非会員（2日間参加）	4000円	4000円
	非会員 大学院生・学部生	1000円	1000円
被災地 スタディ ツアー	会員のみ（共通） 先着20名様まで	2000円	当日申し込み 不可

2) 非会員 一般参加対象

公開講座 基調講演・シンポジウムのみ参加 事前予約優先

会場の収容人数の関係で大会参加申込者（会員）を優先いたします。収容定員に達した場合、ご参加いただけない可能性もあります。

参加区分	事前申し込み 11月1日（火）まで	参加費 資料代として
一般参加者	メールにて申し込み	300円

3) 参加申し込み・参加費の支払い

参加の申し込みは、後日送付の「払込取扱票」を使用して10月18日（火）までにお支払いください。参加費の払い込みをもって参加受付とさせていただきます。

「被災地スタディツアー」をご希望の方は、大会参加費に2000円を加えてください。申し訳ありませんが先着順になりますので、定員に達した場合はご連絡させていただきます。（大会当日にご返金させていただきます）

3：大会宿泊・昼食などご案内

1) 昼食について

大会両日ともに昼食に手配は致しません。女川駅前「シーパルピア女川」に複数の飲食

店があります。また、大会会場裏手にはコンビニもありますので、ご利用ください。

2) 情報交換会について

新型コロナの感染状況も不透明であり、感染予防の観点から今年度は開催いたしません。ご了承お願いいたします。

3) 宿泊施設について（前泊をお勧めします）

大会会場、女川町の宿泊施設については「宿泊ご案内」の通りご希望の方はお申し込みください。

石巻市内（駅前）にも複数のビジネスホテルなどあります。こちらに関しては恐縮ですが、各自で宿泊予約をお願いいたします。

4) 交通のご案内 女川町への交通手段及び交通経路は下記の通りとなります。

・公共交通機関でのアクセス

時刻表などご確認の上、お越しいただけますでしょうか。時間帯によっては便数が限られております。

・お車の場合

女川駅前「シーパルピア女川」の付近には町営の無料駐車場があります。

交通のご案内

時刻表などの最新情報は各交通会社に直接お問合せください。
※各所要時間は目安になります。

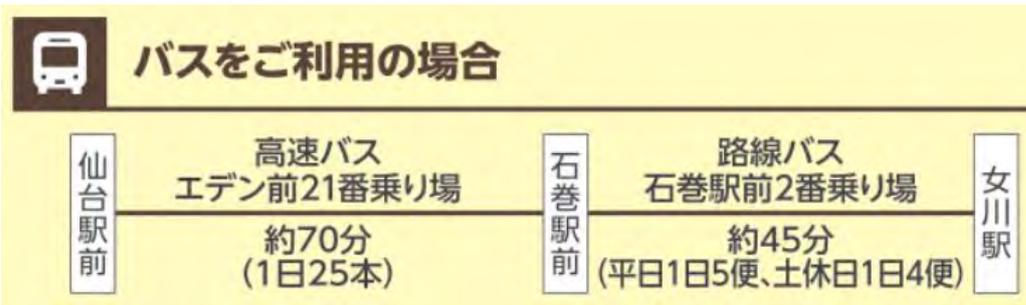


・新幹線利用

東京駅から仙台駅まで 東北新幹線「はやぶさ」利用で約 1 時間 32 分となります。

・JR 利用 仙台駅～石巻駅 30 分に約 1 本の運行間隔です

石巻駅～女川駅 1 時間に約 1 本の運行間隔です



- ・バス利用 仙台駅前から石巻駅前まで（約 1 時間 20 分） 宮城交通が 1 時間に 1 本程度運行しています。

石巻駅前から女川駅前まで、土日の運行ダイヤは

石巻駅前発	女川駅前着	女川駅前発	石巻駅前着
9 : 32	10 : 09	9 : 02	9 : 39
11 : 37	12 : 14	10 : 57	11 : 34
14 : 32	15 : 09	13 : 04	13 : 41
16 : 28	17 : 05	15 : 40	16 : 17



- ・車利用
仙台駅でレンタカーを借りて移動も便利です。
仙台駅から女川駅前まで約 1 時間 20 分です
路上駐車はご遠慮下さい。女川駅裏や会場周辺には無料駐車場があります。
- ・飛行機の利用
仙台空港へは 新千歳空港 大阪（伊丹）空港 福岡空港 名古屋（中部）空港 神戸空港の便が出ております。関西圏、名古屋圏の方や九州・北海道からお越しの方は、空路が便利です。
JR 仙台空港駅から仙台駅 約 30 分 1 時間に 2～3 本の運行があります。

宮城県 女川町まちなか交流館 案内



女川駅より 徒歩 3 分 (260 m)

女川町まちなか交流館 〒986-2265 宮城県牡鹿郡女川町女川 2 丁目 65 番地 2
(会場への直接の問い合わせはご遠慮ください)

- ※ クロークは設けておりません。手話通訳や要約筆記につきましては申し訳ありませんが実施することができません。
- ※ 託児サービスは用意しておりませんが、館内のキッズコーナーは利用できます。
- ※ 利用に際しては、館内の規定を遵守いたしますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染対策のご協力について

ご参加予定の皆様におかれましては、感染予防のご協力をお願いいたします。

- ① 検温時 37.5 度以上の場合、大会参加をご遠慮いただきます。会場受付にて検温をさせていただきますのでご協力をお願いいたします。
- ② 大会期間中は、常時マスクの着用、手指の消毒の徹底、飲食時の黙食のご協力をお願いいたします。
- ③ 今後感染状況の拡大など状況の変化がありましたら、改めてご連絡いたします。

宿泊ご案内

おながわおんせん はなゆうび
女川温泉 華夕美



女川駅から車で7分



女川温泉は南三陸のダイナミックな海岸の地形美と海の美しさ、温泉の効能のすべてを楽しめる恵まれた環境にあります。

また、万石浦はその湾の形から朝日と夕日を望むことのできる景勝地であり、絶好のビューポイントに位置する当館からは、大浴場・露天風呂をご利用いただきながら美しい海景を心ゆくまでご堪能いただけます。

- ◎朝食付プラン（税込み） ※素泊まりプランの扱いはありません。
- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 3～4名1室 7,850円 | 2名1室 8,400円 | 1名1室 8,950円 |
|---------------|-------------|-------------|
- ◎2食付プラン（税込み）
- | | | |
|----------------|--------------|--------------|
| 3～4名1室 11,150円 | 2名1室 12,250円 | 1名1室 13,350円 |
|----------------|--------------|--------------|

ホテル・エルファロ



女川駅から徒歩2分



東日本大震災後にできた『El Faro』。エルファロ、それはスペイン語で「灯台」を意味します。震災当初、再建の目処さえ付かない中、多くの方々の支援や応援という「灯台」に導かれ、新しいスタートを切ることができたエルファロ。今度は、私たちが「灯台」になりたい。女川町を、被災地を、日本を、照らしていきたい。自らが光となり、復興へ進む道を照らしていく・・・そんな想いから名づけられたホテルへ、皆さんもぜひご宿泊ください。

- ◎朝食付プラン（税込み）
- ※土曜日（11/19:土）宿泊の場合は下記料金から1,000円程度アップします。
- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 4名1室 20,548円 | 3名1室 16,731円 | 2名1室 12,254円 | 1名1室 7,007円 |
|--------------|--------------|--------------|-------------|
- ◎素泊まりプラン（税込み）

ご宿泊を希望される方は、10月1日（金）まで下記アドレスへ必要事項をご記入のうえお申込みください。

必要事項：（件名：日本仏教社会福祉学会 宿泊申し込み）ご氏名・連絡先・宿泊プラン・宿泊日
申込先アドレス：smile@shakyo-onagawa.or.jp 女川町社会福祉協議会 須田まで

被災地スタディツアー ご案内

第 56 回日本仏教社会福祉学会学術大会は、東日本大震災から 10 年を経て、地域と寺院の新たなつながりの可能性と仏教社会福祉活動の今後の方向性が明らかになるような大会にしたいと考え、宮城県女川町にて、対面で開催する運びとなりました。

大震災から 10 年が過ぎた現在、今一度震災を通して得た知見を振り返るとともに、地域社会の中で寺院が社会資源の一つとしてどのように平時からの取り組みを行っていく事ができるのか、被災地である宮城県女川町で、皆さんと共に考える機会となる事が出来ればと考えています。

令和 4（2022）年度 第 56 回日本仏教社会福祉学会学術大会実行委員会

1：被災地スタディツアーの概要

今回の学会大会が被災地である宮城県女川町での開催というご縁をいただきました。その中で大会後参加者の方を対象に、女川町、石巻市での震災遺構等を訪ねる被災地スタディツアーを企画いたしました。女川町社会福祉協議会のご協力でマイクロバスを手配していただき、被災地の取り組みや災害伝承館・震災遺構などを見学し学ぶ機会を設けました。

1) 実施日・時間

大会第 2 日目、11 月 20 日（日）、研究発表分科会終了後

※昼食は、各自でお取りください。車中での飲食もできます。

13 時 30 分 女川町まちなか交流館 ホール集合

2) 訪問見学先

- ・女川いのちの石碑
- ・東日本大震災慰霊碑
(女川町地域福祉センター)



- ・みやぎ東日本大震災津波伝承館（石巻市）



・石巻市震災遺構 門脇小学校※（石巻市）



※入場料 600 円は各自負担

門脇小学校は津波火災の痕跡を残す唯一の震災遺構であり、避難を考えると垂直避難だけでは難しい一面があることを伝えています。

終了予定時刻 16 時 30 分～17 時 00 分

仙台空港で解散予定。(仙台駅までは電車で 30 分ほどです)

2 : 参加申し込み及び参加費

参加ご希望の会員は、下記の通り、申し込みをお願いいたします。

参加区分		事前申し込み 10 月 18 日（火）まで	大会当日受付
被災地 スタディ ツアー	会員のみ（共通） 先着 20 名様まで	2000 円	当日申し込み 不可

1) 参加申し込み・参加費の支払い

参加の申し込みは、後日送付の「払込取扱票」を使用して 10 月 18 日（火）までにお支払いください。参加費の払い込みをもって参加受付とさせていただきます。

「被災地スタディツアー」をご希望の方は、大会参加費に 2000 円を加えてご入金ください。申し訳ありませんが先着順になりますので、定員に達した場合はご連絡させていただきます。(大会当日にご返金させていただきます)

2) 解散場所について

仙台空港駅を解散場所として予定しております。仙台駅に向かわれる方は、仙台行きの電車をご利用ください。空路をご利用の方は、そのまま空港へ向かってください。

令和4（2022）年度 日本仏教社会福祉学会 第56回学術大会 研究発表 申し込み要領

1：自由研究発表の申し込み

1) 申し込みについて

申し込み方法：メールにて申し込みを受け付けます。

メール件名 「（お名前） 日本仏教社会福祉学会研究発表申し込み」

★申し込み時に提出するもの（添付ファイルにてお願いします）

提出物① 研究テーマと概要（A4判 800字から1200字程度）1枚

提出物② 発表者などの情報が分かるもの。

下記の内容を記載したA4用紙1枚

- ・発表者氏名（共同研究者がいる場合、全員の名前を明記：会員であること）
- ・ご所属 ・連絡先住所 ・連絡先電話（連絡が付きやすいもの）
- ・連絡先メールアドレス ・パワポの使用の有無

※①②ともに書式は自由とします。

2) 提出先 メール：asiainst@soc.shukutoku.ac.jp

大会事務局でメールを受理しましたら、返信アドレスに「受信完了」の返信を致します。送信後4日以内に返信がない場合、大会事務局（電話：043-265-9879）までお手数ですがご連絡をお願いします。

3) 発表申し込み締め切り 2022（令和4）年9月16日（金）

4) 発表採用の可否について

提出された、「研究テーマと概要」をもとに事前審査を行います。査読の結果、不採用となる場合もありますことをあらかじめ、ご了承ください。不採用の場合のみ、9月22日（木）までにご連絡します。

5) 研究発表の要旨集掲載原稿につきましては、作成要項をご参照ください。

- ・要旨集掲載原稿提出締め切り 2022（令和4）年10月14日（金）厳守

2：自由研究発表について

- 1) 発表時間 報告時間 20 分、質疑応答や討議 10 分で、1 報告 30 分を予定しています。
- 2) 会場備品 パソコンは会場備え付けのノートパソコンをご使用ください。発表当日、開始時間前に USB メモリーからノートパソコンのデスクトップに各自でコピーしてください。
各会場にプロジェクターを設置し、発表に使用します。
使用するパソコンの OS は Windows10 です。
マイクロソフト office2019 又は 2021 のパワーポイントとなります。
※互換性のソフトで作成した場合、書式のずれが起こる場合があります。発表者の自己責任で使用してください。
- 3) 当日の配布資料について
発表者で資料を配布される方は、30 部程度（書式や印刷部数の判断はお任せいたします）を当日持参してください。大会事務局では、印刷やコピーの対応はできませんのでご注意ください。

3：その他留意点

- 1) 掲載原稿の様式及び研究倫理の点について
掲載原稿の様式が指定したものと違う場合や研究倫理の点から発表にそぐわないと判断した場合は修正を依頼いたします。当日の配布資料についても研究倫理の点に注意して作成してください。
- 2) 発表の申し込み資格（共同研究者を含む）
研究発表の応募資格は、日本仏教社会福祉学会の会員であることが前提です。

研究発表の要旨集掲載原稿 作成要項

1：報告要旨集について

大会当日に配布します、大会研究要旨集の掲載原稿についてのご案内になります。本作成要項をご確認いただき、原稿の作成をお願いいたします。

・要旨集掲載原稿提出締め切り 2022（令和4）年 10月14日（金）厳守

提出先メール：asiainst@soc.shukutoku.ac.jp

★原稿提出について（添付ファイルにてお願いします。ファイル名は「お名前+論文タイトル」でお願いします）

提出物 要旨集掲載原稿（既定の書式に従ったもの）

メール件名 「（お名前） 日本仏教社会福祉学会研究発表 原稿」

メール本文に発表者などの情報が分かるものを

- ・発表者氏名 ・ご所属 ・連絡先電話（連絡が付きやすいもの）
- ・連絡先メールアドレス

大会事務局でメールを受理しましたら、返信アドレスに「受信完了」の返信を致します。送信後4日以内に返信がない場合、大会事務局（電話：043-265-9879）までお手数ですがご連絡をお願いします。

2：研究発表の要旨集掲載原稿 作成要項

1) 原稿の様式

- ① 用紙サイズ・枚数 A4判 2ページの横書きです。
- ② 次ページの「研究発表 原稿様式」のとおり作成してください。
- ③ 用紙の余白を、上下左右 各25mmあけてください。
- ④ 一行の文字数と行数は特に指定しません。

2) 原稿の記述する事項

- ① «テーマ、発表者全員の氏名・所属（主発表者には○を付ける）、キーワードを3つ»を明記してください。
- ② 調査を伴わない文献研究の場合でも、プライバシー保護にはご注意ください。
- ③ 事例等での記述では、プライバシー保護、関係者の承諾等にご注意ください。

日本仏教社会福祉学会学術大会実行委員会 委員構成

- ・主催 日本仏教社会福祉学会
- ・共催 東北福祉大学（団体会員校） 淑徳大学アジア国際社会福祉研究所
女川町社会福祉協議会
- ・後援：女川町
- ・協力：女川町仏教会
- ・協力：女川町商工会議所

本大会に関する問い合わせは、下記にお願いいたします。

2022（令和4）年度 日本仏教社会福祉学会学術大会連絡事務局

〒260-8701 千葉県千葉市中央区大巖寺町 200

淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所

アジア仏教社会福祉学術交流センター長／淑徳大学教授 藤森 雄介

電話 043-265-9879 FAX 043-265-7339

メール asiainst@soc.shukutoku.ac.jp

※夏季期間中であり、お問い合わせはできるだけメールにてお願いいたします。